

メディコス文化道

MEDI COS BUNKA MACHI

VOL.15

特集 「お正月イベント」、「読書推進トークイベント」、まち歩き&ワークショップ「柳ヶ瀬にひたろう」開催！ **メディコスのコレカラ** コンセプトブック制作、進行中！



みんかの森
GIFU MEDIA COSMOS

新春を祝う メディコスお正月イベント

新たな年を迎えたメディコスで開催された「お正月イベント」。
一年の始まりにふさわしいさまざまな企画が行われました。

2025年1月4・5日に開催された恒例の「お正月イベント」。エントランスでは巨大な蛇凧(あぶたこ)と連凧が来館者を迎えました。4日は箏演奏会の雅やかな音色が響き、正月らしい雰囲気。5日に行われたメディコスのオリジナルカレンダーを作る企画では、参加者が好きな日付を選んでイラストやメッセージを描き、巨大な日めくりカレンダーが完成。一年間館内に展示されていますので、ぜひご覧ください!そのほか、凧作りワークショップや、メディコスを起点とした6種類のまち歩きマップの中から1枚をくじで選ぶ「まち歩き運だめし」など、子どもも大人も楽しめる企画が満載でした。



甲斐みのりさん トークイベント開催!

2025年1月25日、文筆家・甲斐みのりさんをゲストに
迎えた読書推進トークイベントが開催されました。



文筆家の甲斐みのりさんが登壇した読書推進トークイベント「暮らすように『すき』をたのしむ」。当日は約200名が会場に集まり、オンライン配信でも100名以上が視聴しました。甲斐さんは自分に自信が持てなくなった学生時代に始めた「すきノート」について、「1冊のノートを自分の好きなもので埋められたらきっと変わる!と、好きな言葉や歌詞、まちでつけた好きなものを書き留めました。すると、世の中を加点方式で見られるようになり、「ときめき体質」になったんです」と話しました。

さらに、「メディコス文化道」の取材で岐阜市を巡った際に見つけた建築物や食べ物など、たくさんの「すき」についても紹介!聴講者も自分の「すき」を見つけに、まちに出かけたくなる時間となりました。



まち歩き&ワークショップ 「柳ヶ瀬にひたろう」開催!

特集
03

柳ヶ瀬をよく知る若者が案内するまち歩きとZINEを制作する
ワークショップで、柳ヶ瀬の新たな魅力を発見しました。

2025年3月1日に開催されたまち歩き&ワークショップイベント「柳ヶ瀬にひたろう」。個性的な店やクリエイティブな人が集まる商店街を、「柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社」の福富梢さんをはじめ、柳ヶ瀬の魅力を深く知る20~30代のメンバーで構成された「ひたひた収集室」が案内しました。市内外から集まった16名の参加者は、ロイヤル劇場やアクアージュ柳ヶ瀬を訪れたり、新旧の建物が並ぶスポットや普段は通り過ぎてしまう街角の情景に着目したりと、それぞれの視点から柳ヶ瀬を深掘り。最後に、まち歩きで撮影した写真でZINEを作って共有し、柳ヶ瀬の新たな魅力を発見していました。



TOPIC

2025年に開館10周年を迎えるメディコスでは、オリジナルグッズのタンブラーを販売中です! メディコスの「波打つ木製格子屋根」と岐阜市の花「サルビア」をモチーフとして、(株)日比谷花壇と作成したあたたかみのあるデザインです。ぜひ、館内でもご活用ください!



[価格] 3,500円(税込)

[容量] 500ml

メディコス2階図書館レファレンスカウンターにて販売
※詳細はメディコスHPよりご確認ください

開館10周年記念
タンブラー販売中!

TOPIC

「伝えたいメディコスの魅力」をテーマに、2024年12月1日~2025年1月15日に開催された「メディコス インスタフォトコンテスト2024」。応募総数約140件の中から見事最優秀賞に選ばれたのは、



最優秀作品(撮影: @ins.tai.gramさん)

@ins.tai.gramさんの作品。最優秀賞をはじめ、入選作品は館内やメディコスHPで紹介していますので、ご覧ください。メディコスのInstagramもぜひ、フォローしてくださいね!

最新情報は
公式Instagramで /

インスタフォトコンテスト
最優秀作品が決定!



GIFU_MEDIACOSMS

メディコスのコレカラ

THINK FUTURE
of MEDICOS

テーマは“×+（かけるじゅう）”。
コンセプトブック制作、進行中！

2025年に開館10周年を迎えるメディコスでは、“×+”をテーマとしたコンセプトブックを制作中です。“わたしたちの暮らしにメディコスを「+（たす）」だけでなく、もっと「×（かける）」ことで、一人ひとりとしての「わたし」の物語の一步が始まる”。そんな未来を目指し、メディコス編集講座の修了生が取材を行ったり、複数のワークショップを開催したりしながら、着々と制作を進めています。

「メディコス編集講座」修了生が取材！

コンセプトブックでは、メディコスを拠点に活動するさまざまな市民活動団体の取り組みも紹介します。その取材には、2021年からメディコスが毎年主催している「メディコス編集講座」の修了生が参加。今回取材を行った5人の修了生は、市民活動団体やメディコスの担当者から活動の概要やおもしろさなどを聞き取り、それぞれの目線で魅力を紹介しています。



第4期修了生
くまくら てつやさん

編集講座修了生の声

編集講座での学びを活かし、今回の取材に参加できて嬉しいです。プロのサポートの下、市民活動団体の代表の皆さまから直接お話を聞き、200字にまとめる挑戦は感動的でした。また機会があればチャレンジしたいです。

「10年後のメディコスをみんなで考えるワークショップ」開催！

全3回行われたワークショップの第1回、第2回はメディコスで「やってみたいこと」「ほしいこと」をイラストで表現。第3回はそのアイデアの実現に必要なものや企画をまとめました。多くのアイデアが、コンセプトブックでメディコスの未来を描いた1枚のイラストとなる予定です！



▲ 第3回ワークショップの様子

制作中のコンセプトブックをチラ見せ！

メディコスが開館から現在に至るまで、どのように育ってきたのかを年表形式で振り返るページでは、それぞれの時期のキーパーソンが当時の思い出や現在につながる想いを紹介しています。

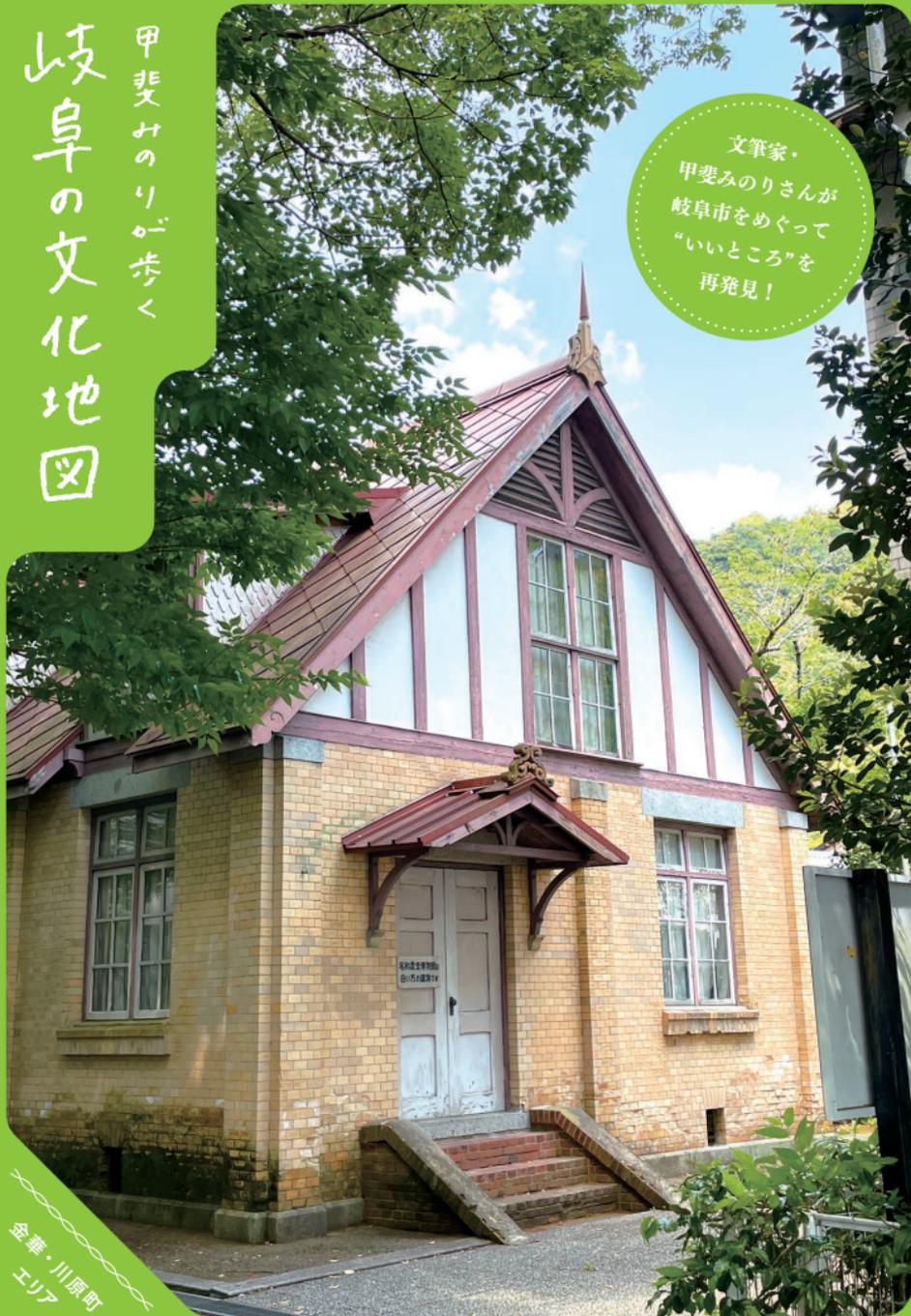


コンセプトブックの完成は
2025年7月!
お披露目をお楽しみに！

岐阜の文化地図

甲斐みのりが歩く

文筆家・
甲斐みのりさんが
岐阜市をめぐって
“いいところ”を
再発見!



金華・川原町
エリア

【岐阜市/金華・川原町エリア】

文・写真



〈甲斐みのり〉

文筆家。旅、手みやげ、喫茶、建築などにまつわる著書多数。訪れた土地の魅力を見出して綴る愛しみのある文体で、全国に多くのファンを持つ。

<https://www.loule.net/>

呼び親しまれる、風情あるまち並みや老舗が今も残る一帯へ。1300年以上続く「ぎふ長良川の鶺鴒」の舞台としても知られるこの辺りは、古い建物を活かしたショップやカフェが新たな賑わいを生み出し、寄り道が楽しい。途中で長良橋から長良川と金華山を眺めながら、こんなふうには歴史や伝統が日常と隣り合わせにあり、旅するように暮らすことができる岐阜の人々の豊かさに、憧憬の念を抱きました。



1	2	3
4	5	6

- 武田五一設計の「名和昆虫博物館」。
- 岐阜公園「でんがく処むらせ」は、おでんも人気。
- 長良橋から望む金華山と岐阜城。
- 「ぎふ長良川の鶺鴒」の観覧船のりば。
- 「玉井屋本舗」は鮎菓子「登り鮎」が代表銘菓。
- 川原町の蔵を改装した和カフェ「川原町屋」。



山頂に岐阜城がそびえる金華山ふもとの岐阜公園は、戦国時代に城主・斎藤道三や織田信長の住居が置かれたところ。明治以降は周辺に市民憩いの施設が作られ、地元の人と旅人がともに楽しむ様子が見られます。今回はそんな金華エリアから散策をスタート。日本最古の昆虫専門博物館の「名和昆虫博物館」と、隣接する赤い三角屋根に木造・レンガ造りの「記念昆虫館」(表紙写真)は、どちらも近代日本を代表する建築家・武田五一の設計。明治・大正期の建物を前に、物語の世界へ入り込んだような心地に包まれます。

さらに、美濃和紙や材木を運ぶ河川流通の要所として栄え、「川原町」と

風情ある景観を織りなす
歴史的な建造物やまち並み



「鮎舟当」を予約して
鵜飼観覧船で楽しむ人も



2

川原町泉屋

風情ある川原町の景観の中にあり、鵜飼観覧船に乗る前に食事をする人も多い鮎料理専門店。炭火でじっくり焼き上げる鮎塩焼や、郷土料理の鮎熟れ寿司、オリジナルの鮎ピザなど、さまざまな名物料理を堪能できます。中でも、コース料理の締めとしても人気の「鮎らーめん」は、一度食べると忘れることができなると評判。昆布・鰹節の一番出汁や天然鮎の魚醤を加えて深い味わいに仕上げた上湯スープと、もっちりとした中細麺に、天日干しの鮎のひらきと鮎焼きのほぐし身をトッピング。残りのスープにごはんと梅干を入れて、鮎ぞうすいも楽しめます。

岐阜市元浜町20 ☎11:30~LO13:30、17:00~LO19:00
※鵜飼開催期間以外の夜営業は予約制 ㊟水曜定休 ☎058-263-6788
<https://www.nagaragawa.com/> 鮎らーめん / 1,430円(税込)



濃尾地震や戦災も逃れ、
約200年まちを守る



1

岐阜大仏 (正法寺)

日本三大大仏の一つに数えられる、高さ約14メートルの大仏。骨組みは木材で、輪郭は籠のように編んだ竹。その上に粘土を塗って、經典を書いた美濃和紙を貼り、漆と金箔を施しています。乾漆仏としては日本一の大きさを誇り、38年もの歳月をかけて天保3年に完成しました。提灯や和傘といった岐阜の伝統工芸と同じ素材や技術が用いられていることにも、地域との深い結びつきを感じます。
ふくよかな耳にすらりと長い指。顔を少し下に傾けて柔和に微笑む姿と表情を前にすると、日々の迷いがすうっと消えてなくなるような気がするから不思議です。

岐阜市大仏町8 ☎9:00~17:00 ㊟無休 ☎058-264-2760
<https://www.gifu-daibutsu.com/> 拝観料 / 大人200円、小人100円





① でんがく処 むらせの
とふ田楽

岐阜公園内の
老舗茶店で

創業明治35年の茶店の名物、1箱に6串セットの「とふ田楽」。素焼きした固めの豆腐に、八丁味噌がベースの香ばしい味噌ダレをつけて炙った一品。山椒と木の芽の香りがずつと鼻に抜ける。

甲斐川のりが見つけた
岐阜市のとっておき。



② 長良川デパートの
ミニレター

鶺鴒が鮎を捉えようとしている様子を愛らしく描いた、美濃和紙のミニレターセット。長良川流域で生まれた選りすぐりの品々が揃うセレクトショップのオリジナルデザイン。

パリンと硬く
さゆれよん



③ 御菓子司 玉井屋本舗の
下剋上鮎

鮎菓子の老舗が作る、米粉や大麦粉を使った新たな焼き菓子。通常の鵜飼とは反対に、鮎が鵜を呑み込むユニークな姿を表現。鮎は和三盆糖味で、鵜は抹茶味と黒糖味の2種類。

① でんがく処 むらせ

岐阜市大宮町1-46
☎ 10:00~17:00
🌿 月曜定休(雨天休業あり)
☎ 058-264-1946

② 長良川デパート

岐阜市湊町45
☎ 10:00~18:00
🌿 火曜、年始
☎ 058-269-3858

③ 御菓子司 玉井屋本舗

岐阜市湊町42
☎ 8:00~19:00
🌿 水曜
☎ 058-262-0276



1本の和傘に
2か月以上の手をかけ完成!



和傘 CASA



和紙や竹と良質な材料が揃う長良川の水運や、分業制による高い生産力に恵まれ、江戸時代末期から和傘の産地として名を馳せる岐阜。開けば花のような和紙の美しさと細やかな糸かがりに目を見張り、閉じれば凜とした竹の姿にため息がこぼれます。しかしながら時代とともに需要や職人が減少。そんな状況に危機感を抱いて立ち上がったのが、この県内唯一の和傘専門店。販売やレンタルに留まらず、歴史や文化、生産者の人柄やこだわりを伝えることにも力を注いでいます。同じ建物内の「ORのズキモノ」で着物をレンタルして和傘を手にもちを歩けば、特別なひとときに。

岐阜市玉井町6 CASA stella ☎ 090-8335-9759
<https://wagasa.shop/>



岐阜の文化地図

金華・川原町エリア

- 岐阜大仏
- 記念昆虫館
- でんがく処 むらせ
- 川原町泉屋
- 和傘CASA
- 玉井屋本舗
- 長良川デパート

毎年5月11日～10月15日に
行われる「ぎふ長良川の精
飼」の観覧船のほか、遊覧
船、屋形船なども運行。

岐阜市精飼観覧船事務所

- 長良川デパート
- 御菓子司 玉井屋本舗

3 ●和傘CASA

●川原町屋

●川原町広場

2 ●川原町泉屋

川原町

かつて川湊として栄え、多くの紙問屋や材木問屋があつた湊町、玉井町、元浜町を総称して「川原町」と呼ぶ。

長良川
橋通り

明治21年に開園。昭和30年代には県立図書館や児童科学館、動物園、淡水魚水族館などもあつた。

●岐阜護国神社

でんがく処 むらせ

●岐阜公園

戦国時代、斎藤道三の居城を織田信長が攻略し、城主に。現在の城は昭和31年に復興されたもの。

●岐阜城

●岐阜市歴史博物館

- 記念昆虫館
- 名和昆虫博物館

1 ●岐阜大仏(正法寺)

ギフチョウの発見で知られる昆虫学者・名和靖が明治29年に設立。収蔵標本は約1万2千種、30万点以上。

金華山ロープウェイ

金華山展望台



みんなの森
GIFU MEDIA COSMOS

メディコス文化道 VOL.15 (2025年3月発行)

発行 / みんなの森 ぎふメディアコスモス

編集・デザイン / さかだちボックス(株式会社リトルクリエイティブセンター)

みんなの森 ぎふメディアコスモス

〒500-8076 岐阜市司町40-5

TEL.058-265-4101

<https://g-mediacosmos.jp/>



WEBサイト



シビクプレイド
プレス



Instagram